

日産車体株式会社
2021年度
第3四半期決算説明
(2022年3月期)



決算サマリー

新型コロナウイルス変異株の影響や半導体不足等により、先行き不透明な状況。

「キャラバン」等の商用車の減少により、売上台数は減少。

この結果、売上高は、主に台数減少の影響や有償支給取引における「収益認識に関する会計基準」等の適用により減少、損益面も悪化した。

売上台数

乗用車・商用車・小型バスともに売上台数が減少し、前年同期比11千台減の79千台

売上高

台数減少の影響に加え、「収益認識に関する会計基準」等を適用したことによる影響等により、908億円減少の1,454億円

営業損益

売上台数の減少等により、7億円悪化の48億円の損失

親会社株主に帰属する四半期純損益

経常利益の減少等により、前年同期比17億円悪化し、31億円の損失

2021年度 第3四半期 決算 <累計>

業績ハイライト

単位:百万円

	2020年度 第3四半期 (2020/4~12)	2021年度 第3四半期 (2021/4~12)	増減額(率)	通期計画
売上高	236,300	145,451	▲ 90,849	– 217,800
営業損益	▲ 4,126	▲ 4,828	▲ 702	– ▲ 3,100
経常損益	▲ 2,784	▲ 4,375	▲ 1,591	– ▲ 2,300
親会社株主に帰属 する四半期純損益	▲ 1,366	▲ 3,126	▲ 1,760	– ▲ 2,100

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、当該会計基準等の適用により大きな影響の生じる売上高は、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

品目別売上高構成比

小型バス

6,425百万円
4.4%

自動車部分品等

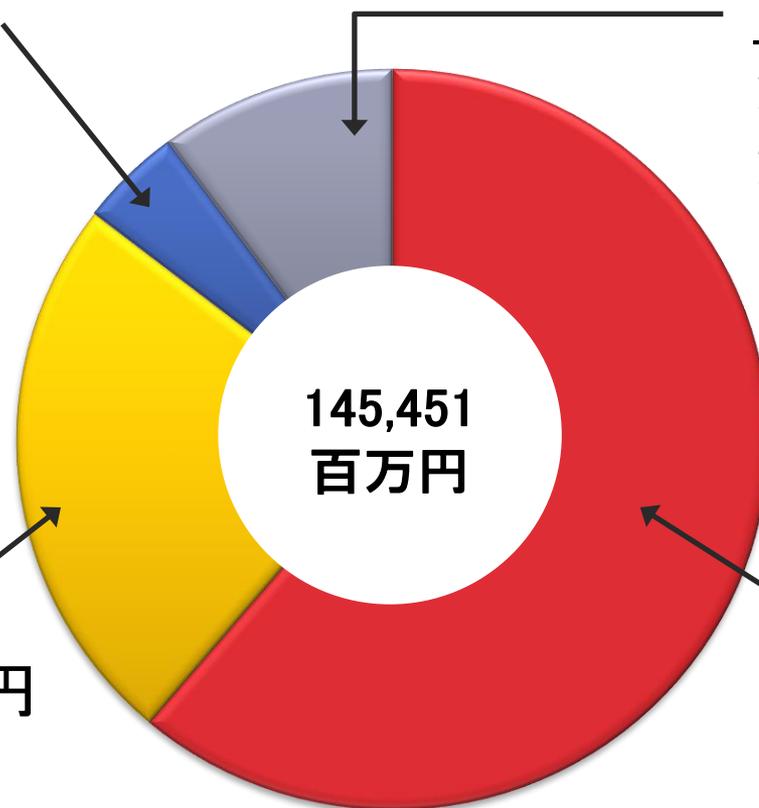
14,723百万円
10.1%

商用車

35,326百万円
24.3%

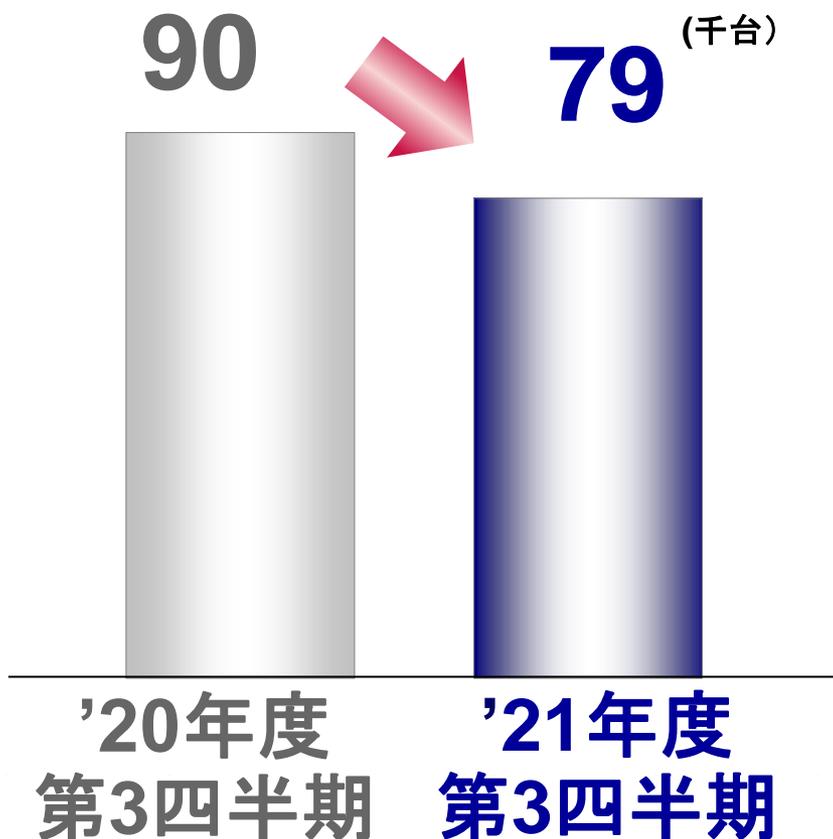
乗用車

88,975百万円
61.2%



売上台数

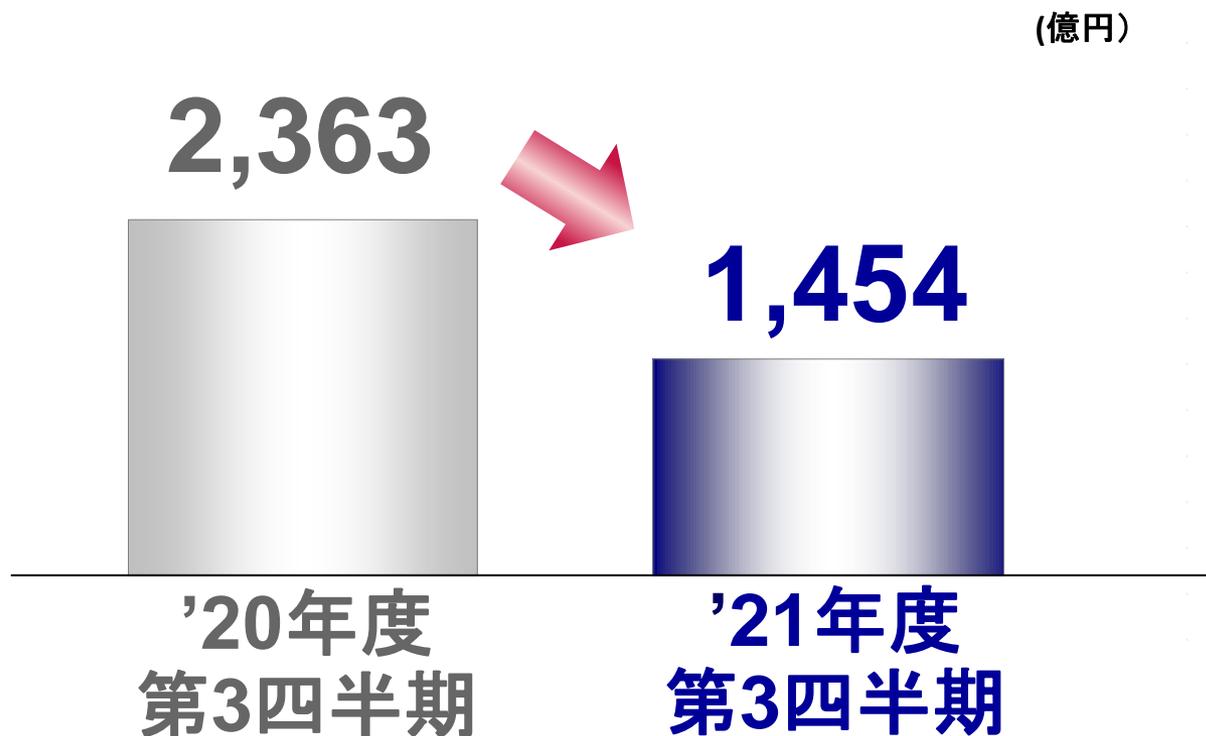
売上台数は前年同期比11.8%減の79千台



	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	38	37	▲1.2%
商用車	46	37	▲20.1%
小型バス	6	5	▲15.4%
合計	90	79	▲11.8%

売上高

売上高は、主に台数減少の影響や有償支給取引における「収益認識に関する会計基準」等の適用等により、前年同期比908億円減の1,454億円

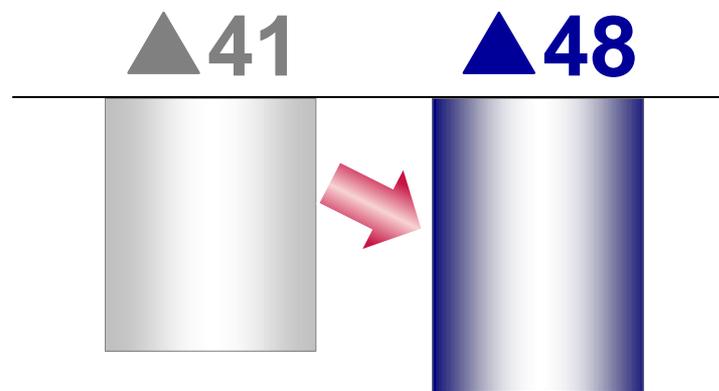


2021年度 第3四半期 決算 <累計>

営業損益／経常損益

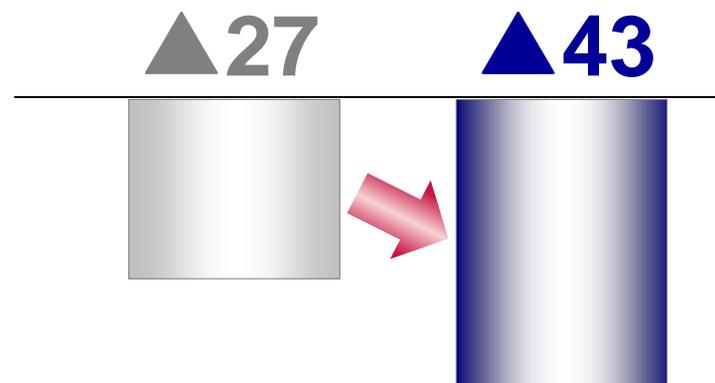
営業損益/経常損益ともに損失悪化となった。

営業損益 (億円)



'20年度 第3四半期
'21年度 第3四半期

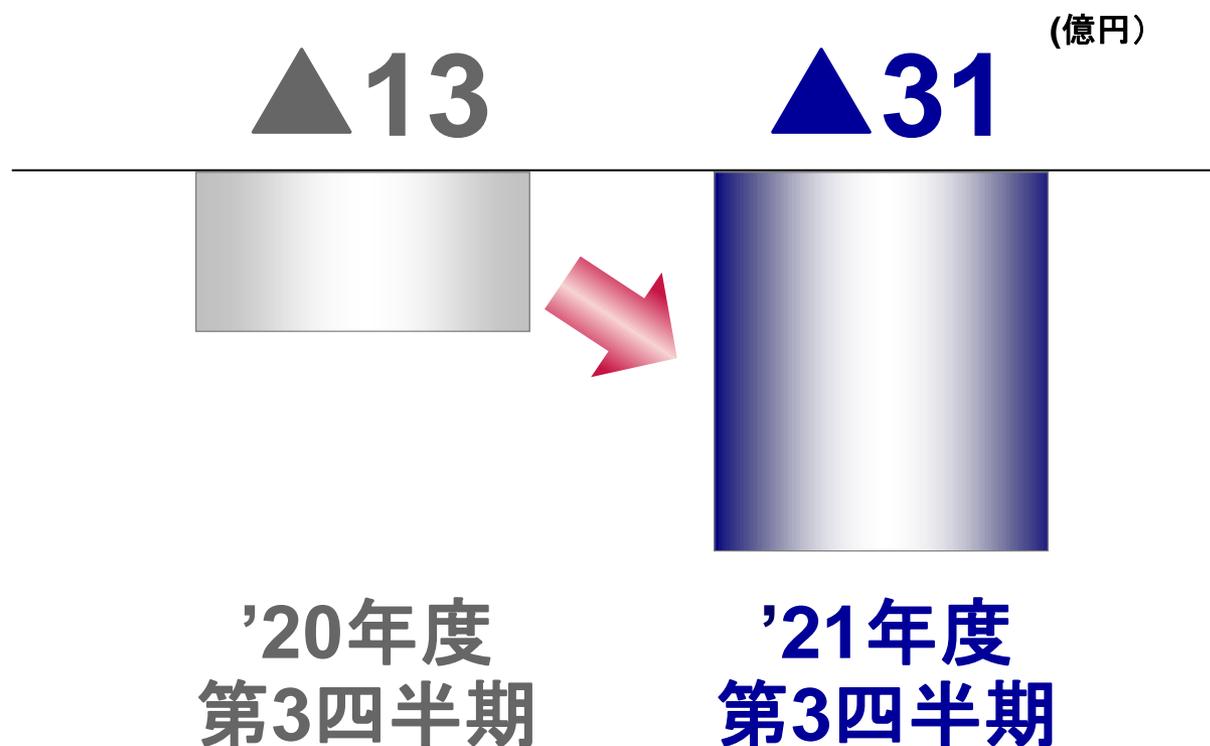
経常損益 (億円)



'20年度 第3四半期
'21年度 第3四半期

親会社株主に帰属する四半期純損益

親会社株主に帰属する四半期純損益は、前年同期比17億円悪化し31億円の損失計上となった。



株主還元

継続的な安定配当を基本とし、年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

